

(3) 令和2年度 美しが丘小学校 「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

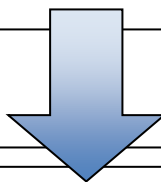
道徳の時間の充実や読書活動の推進、生き物とのかかわりを深める活動や様々な体験活動を通して、感性を高め思考・表現力を養い、自他を大切にする心情や態度を育成します。

児童の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校の児童は、明るく素直で学力も高く、落ち着いて学習したり、自分のやるべきことに真面目に取り組んだりすることができる。しかし、道徳的な価値については、頭では理解してはいるが実践に結びつかないことや、みんなのためにすすんで働こうとする意識が低かったりする傾向が児童のなかに見受けられる。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- 全教育活動を通して、道徳教育や、人権教育の充実を図る。特に道徳の時間の充実を図る。
- 縦割りグループによる活動を通して、高学年の児童が主体的に責任をもって行動する力や、異学年児童同士が思いやりの心をもって協力する態度を育てる。
- 音楽に親しむ環境作りに努め、歌声や演奏を聴いてその良さや努力を認め合う心や態度を育てる。
- 図工などの児童の作品を効果的に掲示し、お互いにその良さを感じ合えるようにする。
- 動植物の飼育栽培活動（とくにウサギ）を通して、生き物の「命」を大切にする心を育てる。
- 言語活動の充実を図り、各教科、領域において子どもたち同士が自分の考えを伝えたり、相手の考えを受け止めたりする話し合いや、発表の場を多くする。



指針1 「特別の教科 道徳」の充実

- 道徳教育の要となる「特別の教科 道徳」の指導を通して、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身につけられるようにします。【視点1】【視点2】
 - ・各学年のカリキュラムの検証

指針2 体験活動の充実

- 動植物の飼育栽培活動や、実験・観察、4年生上郷宿泊体験学習、5年生西湖宿泊体験学習、6年生日光修学旅行、学習での本物との出会いなど児童の豊かな体験活動を充実させ、児童の実感を伴う理解を深めたり、よりよい人とのかかわり方を学ぶ場をつくったりします。【視点3】【視点4】
【視点5】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- 定期的に全校児童から学校生活についてのアンケートをとったり、YP アセスメントを活用したりして、各学級の子どもたちの社会的スキルの育成と、安心・安全な学級風土を育てたりします。【視点6】【視点7】
【視点8】【視点9】
 - ・人権教育の充実・人権出前授業・特別支援教育の充実・国際理解教育の推進

指針4 豊かな感性や情操の育成

- 図工などの児童の作品を効果的に掲示し、お互いにその良さを感じ合えるようにします。
- 音楽に親しむ環境作りに努め、歌声や演奏を聴いてその良さや努力を認め合う心や態度を育てます。
- 児童の読書習慣が身につくように、週に2日の朝の読書タイムを通して、本に親しみ、読書活動を豊かにします。【視点10】【視点11】